07-170-0704

アルフェック® アウトリガー
取扱説明書

ARFEQ® OUTRIGGER

ARFEQ™
PRODUCED BY mont-bell

警告

CAUTION

カヌー（パドルスポーツ）は、場合によっては使用者や周囲の人を危険に陥れたり、死傷事故を誘発する可能性のあるスポーツです。カヌーまたはそれに係わる製品を使用する方は、傷害を負ったり、死亡する場合もあり得ることを理解しておかなければなりません。また、事故を防止するためにも、製品を使用する前には必ず取り扱い説明書を熟読し、その指示に従ってください。

アルフェック
アウトリガーをお買い上げの方に

●この度は、アルフェック『アウトリガー』をお買上げ頂き、誠にありがとうございます。

●この商品は、アルフェックの「アリュート 380T/430T、ボイジャー 460T/520T」専用としてデザインされました。アウトリガーを使用することで、横安定性が大幅に向上します。湖等の穏やかな場所でフィッシングをしたり、小さい子供を乗せてパドリングしたり、水の冷たい場所でより安全に楽しむ為に大変便利です。

●ご使用の際には、必ず注意事項及び取扱説明書の内容をよくご理解された上、正しく安全にご使用下さい。

●当製品に対してご不明な点がございましたら、弊社ディーラーまたは、下記まで、お気軽にご相談下さい。

【 お問い合わせ先·····商品・修理・アフターサービス・その他 】

カスタマー・サービス　　TEL.06-6531-5544　フリーコール：フリーコール 0088-22-0031

1. 概要

●このアウトリガーは、アルフェックの「アリュート 380T/430T、ボイジャー 460T/520T」専用として開発されています。したがって、他社製品に装着時でのトラブルにつきましては、弊社ならびに弊社ディーラーは一切の責任を負いかねますので、予めご了承下さい。

●このアウトリガーをご使用いただく場合は、湖等の静水での使用をお勧めします。川でのご利用の際は、障害物のない、穏やかな、フラットな流れの中でご利用下さい。アウトリガーを装着し、フロート下面と水面とが接触しているくらいのほうが横安定性は向上しますが、その分、パドリング時の操作性は変化（スピードがおそくなる、操作が重くなる）致しますので、艇の特性をよくご理解の上、ご使用下さい。

●フロート取扱上の注意（フロートは外側のアウターと内側のインナー・エアチューブで構成されています）

付属のポンプで空気を入れます。空気の量はアウターのシワが無くなるくらいが適量です。入れすぎますとパンクの原因になりますのでご注意下さい。

尚、空気を入れた状態でファスナーの開閉は絶対にしないで下さい。

2.ご使用になる前に

○梱包内容の確認

梱包箱を開けたらまず、付属品などの梱包内容がすべて揃っていることをご確認ください。

製造にあたっては、万全の注意を払っておりますが、万一、梱包内容が不足していたり、損傷しているものがある場合は、お買い上げの販売代理店もしくは弊社までご連絡下さいますようお願いいたします。

アウトリガー梱包内容

①フロート　2本
②フィックステープ（フック無し）8本
③フィックステープ（フック付き）4本
④エアポンプ　1個
⑤スタッフバック　1個
⑥取扱説明書　1冊

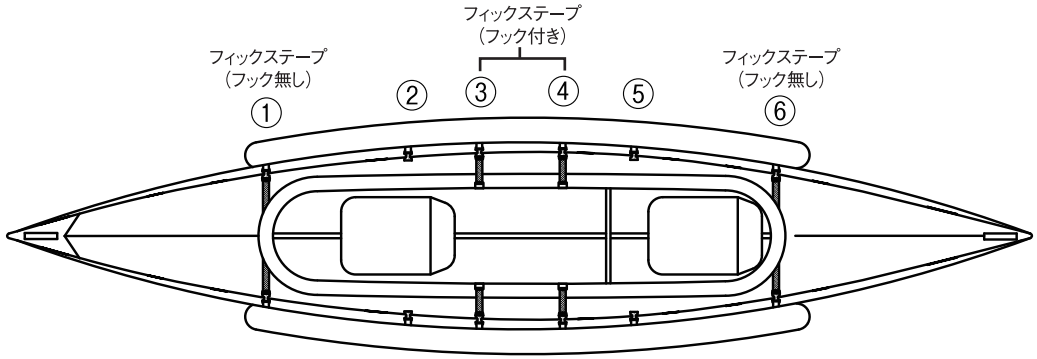
3.アウトリガーの取り付け

（1）フロートに付属のエアーポンプで、空気を入れてください。空気の量は、フロートのシワが無くなる程度が適量です。

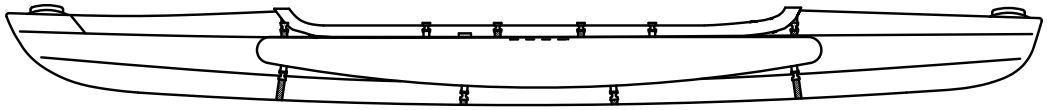
（2）図のようにフロートの下側のメスバックルとフィックステープ（フック無し）のオスバックルを接続します。（4本）

(3) セットしたフロートとフィックステープ（フック無し）の上にカヤックを置いて下さい。

(4) フィックステープ（フック付き・右側2本/左側2本）をカヤックのNBパイプに掛けてフロートの上側のメスバックルに接続します。テープを調節してフロートの上面がカヤックのデッキとボトムのつなぎ目になるように調整します。



①③④⑥に取り付け
※②⑤は使用しません



コックピットカバー未装着時のフィックステープの取り付け位置

（5）フロート両端のメスバックルにフィックステープ（フック無し）のオスバックルを接続します。フィックステープ（フック付き）同様にテープを調節してフロートの上面がカヤックのデッキとボトムのつなぎ目になるように調整します。

（6）ボトム側のフィックステープ（フック無し）4本を左右バランス良く引きフロートをカヤックに固定します。同様にデッキ側フィックステープ中心の白い印をカヤックの中心に合わせます。

（7）デッキ側のテープとボトム側のテープ類を調整してフロートをしっかりと固定してください。

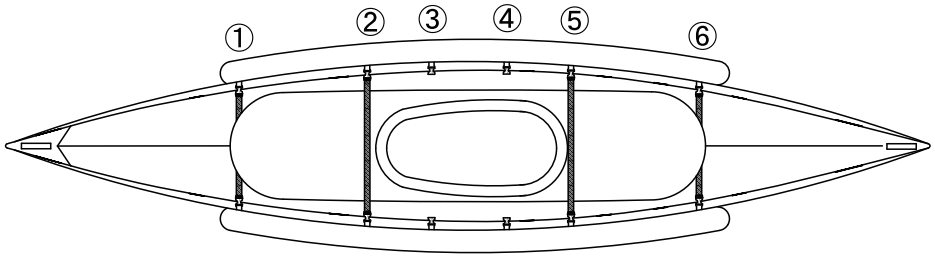
（注意）

カヤックのエアーチューブとアウトリガーアウターの膨らみが変化するとアウトリガーを固定しているテープ類がゆるむ事があります。時々点検をして増し締めをしてください。

4.コーミングカバーを装着した場合

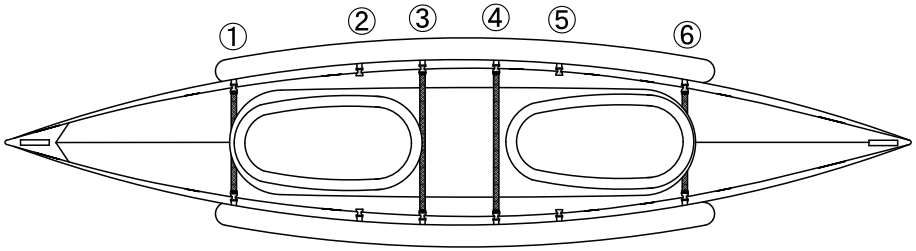
(1)コーミングカバー装着時は、フィックステープ(フック付き)の代わりにフィックステープ(フック無し)2本を装着したコーミングカバーの上から左右のフロートに接続します。フィックステープ(フック無し)のフロート側取り付け位置は、艇種、コーミングカバーの種類によって異なります。(図参照)

コーミングカバー1人用装着時のフィックステープ取り付け位置



①②⑤⑥に取り付け
※③④は使用しません

コーミングカバー2人用装着時のフィックステープ取り付け位置



①③④⑥に取り付け
※②⑤は使用しません

5.メンテナンスについて

○本体の汚れは、スポンジやブラシ等で水洗いします。スチールたわし等は本体が傷つきますので使用しないようにしてください。またシンナー等の溶剤は本体を侵しますので使用しないようにしてください。洗浄後は十分に乾燥させてから収納してください。乾燥が不十分な場合カビが発生する恐れがあります。また本体にシリコンが含まれる保護艶出し剤を塗布すると修理用ボンドが接着できなくなりますので使用しないようにしてください。

○市販のガムテープをリペアクロス代わりに使用し長時間放置すると、本体にガムテープの接着剤が残り取れなくなることがあります。溶剤等で無理に剥がすと本体を傷め場合によっては修理不可能になる場合がありますのでご注意ください。